新品種・新技術の確立
支援　取組概要
（R1～R2）

『かんしょの規模拡大を可能にする苗生産技術の確立』
＝白ハト食品工業（株）＝

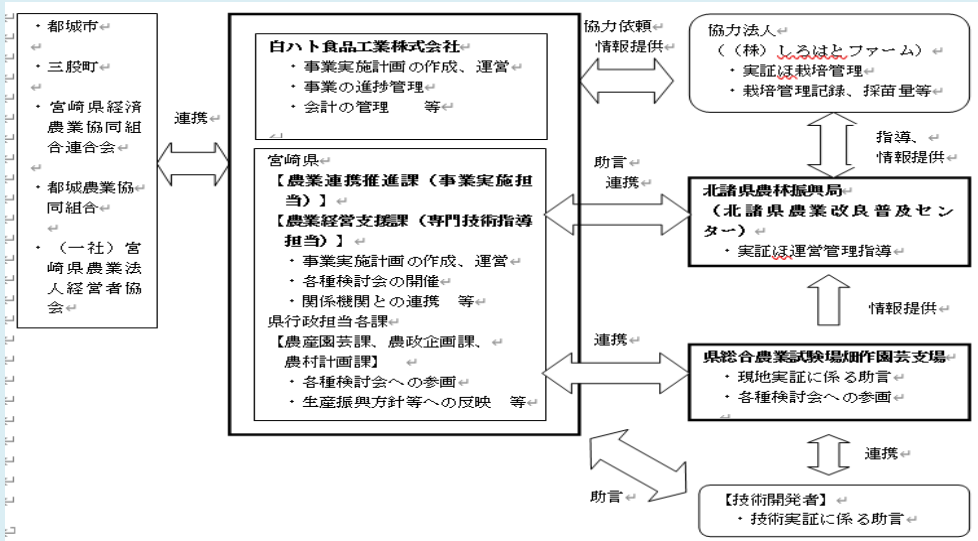
【全体概要】
　かんしょ生産における採苗作業は、作業体勢がきつく、手間もかかり、農村地域での労働力不足により、当作業が規模拡大のネックとなっていることが多い。そのため、作業体勢・作業方法ともに作業者の負担が少なく、良質な苗が生産できる育苗技術を実証し、宮崎県でのかんしょ栽培体系に適応する育苗技術の確立を目指す。

新品種・新技術等の概要

「原料用かんしょ　小苗生産技術」

　農研機構 九州沖縄農業研究センター、鹿児島県農業開発総合センター等が開発した当技術について、苗を採る長さを小苗（15cm）ではなく、通常の苗長（20cm）で実施。また、採苗方法も一斉採苗のみではなく、一斉と選択採苗を組み合わせた方法にするなど、同技術を宮崎県での栽培方式に合うようにアレンジして実証を実施。

実施体制図



主な取組内容

- かんしょ苗生産技術の実証（採苗量、成苗率、作業時間、作業体勢等）

課題と今後の対応

- 同技術については、一斉採苗を行った場合、作業時間の短縮や作業体勢の軽減化が図られた。
- 一方、一斉採苗後次回収穫までは1か月を要し、採苗サイクルが長くなること、また採苗後半には成苗率が低くなることが問題となった。
- 上記の結果を踏まえ、更に2年目の実証に取り組む。